

# 学校だより

学校だより 10月号  
令和4年9月30日  
発行者 外日角小学校  
TEL 283-0040

## 心をそろえよう

校長 稲垣一郎

2学期後半に入りました。秋も深まり、次第に寒さを感じる季節になってきました。先日の運動会では、小雨の中ではありましたが、保護者の皆様からの温かな声援や拍手によって、子どもたちは、練習の成果を十分に発揮し、達成感や成就感を手にして終えることができたと思います。

10月の活動では、6年生は体育大会、5年生の宿泊体験学習、1～4年生の社会見学、なかよし遠足、かけあしチャレンジなどが予定されています。そして、夏休みを終えて提出された様々な作品の入賞結果が各方面から届いております。日頃の学習成果の結果ととらえて、自信を深めてもらいたいと思います。

さて、10月の学校集会では、子ども達に大切にしてほしい4つの「あ」の中の【あとしまつ】について、児童玄関の靴に絞って話をしました。

靴を揃えるということは、気持ちを切り替えることだと考えています。つまり今までの心をそこで絶つということ。例えば、遊びたい・少し休みたいな、といった気持ちを一旦切って鎮めて、さあ次の授業に向かおうという気持ちを作る作業が、この「靴を揃える」ということだと思っています。

長野市の円福寺の住職・藤本幸邦（ふじもとこうほう）さんは、靴（ここでは「はきもの」）を揃えることについて、こんな言葉を私たちに伝えてくださっています。

はきものをそろえると 心もそろう  
心がそろうと はきものもそろう  
ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと 世界中の人の心もそろうでしょう



昔から、「靴を揃えると成功する」と言われていました。その理由は、一つひとつのことにケジメをつける習慣が身につくからです。普段、乱れた生活をしていると、何もかもがごちゃ混ぜになってしまいます。日々の生活のなかで、中途半端なことが多いと、何ごとも前に進んでいかないのが現実で、結果として自己の成長から遠のいていくからでもあります。靴(はきもの)を揃える習慣が身につくことで、徐々に心も揃っていくので、否が応にも成功へと導いてくれることになるというわけです。

外日角小学校でも、多くの学年で進んで靴揃えを実践しています。高学年に負けないように、全校の子ども達と共に実践していきたいと思っています。是非、ご家庭で取り組んでみてはいいかかでしょうか。本当だったんだと間違いなく納得出来ると思います。

余談ですが、揃えるの字の説明です。「揃える」とは、てへんであり「手」＋「前」と書きます。揃えるときは、「手を前を出して揃えなさい」という意味だそうです。

